令和7年度　自己評価及び学校関係者評価書

1　本年度の重点目標

全ては「とよぞのスマイル」のため

笑顔あふれる ウェルビーイングな学校を目指して

2　本年度の経営方針

子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校

3　自己評価結果に対する学校関係者評価

○十分達成：A　○概ね達成：B　○達成できていない：C

<table>
<tr><th rowspan="2">分野</th><th rowspan="2">評価項目</th><th colspan="2">自己評価</th><th colspan="2">学校関係者評価</th></tr>
<tr><th>達成状況</th><th>改善の方策</th><th>自己評価の適切さ</th><th>改善策の適切さ</th></tr>
<tr><td rowspan="3">学校経営</td><td>重点目標や経営方針の達成に向け、各部・各係や学年・学級が連携し、業務を推進することができたか。</td><td>B</td><td>昨年より大切にしている「豊園スマイル」を合言葉に、子どもたちが充実した学校生活を送ることができるような取組を各部・各学年が立案した。次年度も、「豊園スマイル」の具現化に取り組んでいく。</td><td>A</td><td>A</td></tr>
<tr><td>児童理解を深め、子どもが安心感をもって学べる環境づくりがなされていたか。</td><td>A</td><td>学校生活に不安を抱いたり、集団生活に馴染めなかったりする子どもには、担任と共に担任外も状況を把握しながら関わるようにしてきた。各家庭に関わる情報の共有を進め、チームで対応できる体制を継続させていく。</td><td>A</td><td>A</td></tr>
<tr><td>不登校やいじめ、生徒指導上の諸問題に関して、組織的に取り組むことができたか。</td><td>A</td><td>問題等が生じた際の記録化を随時図っていく。毎月の会議内で不登校やいじめの状況を把握することができている。状況の把握、早期の対応、保護者・各機関との連携を今後も徹底していく。</td><td>A</td><td>A</td></tr>
<tr><td colspan="2">学校関係者評価委員による意見</td><td colspan="4">・学校は、地域との関わりをもつことを大切にしているだろうが、学校の様子を知る機会（方法）が少ないので知ってもらう手立てを考えてほしい。
・いじめはなくしていきたい。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">もっと学ぶ子（学ぶ力）</td><td>教師や友達の話の意図を理解し、反応しながら聞くことができるよう指導できたか。</td><td>B</td><td rowspan="5">今年度の教職員アンケートでは、課題探究的な学習を展開する授業づくりに課題を感じている職員が複数いることが明らかになった。
子どもが「やってみたい」「考えてみたい」という課題を見出し、明らかにする学習の仕方を選択しながら、学んでいくことができる授業の在り方を模索する必要がある。
次年度は、以下のような指導を通して、改善を図る。
○子どもの声に寄り添い、対話を重視して授業を進めるようにする。
○ICTの積極的な活用など授業形態も変化が求められている。教職員間で授業づくりを行うなどして、より子ども主体で進められる授業の在り方を研修していくようにする。
○枠に当てはめるような展開ではなく、子どもの自由な発想を認め、子どもの活動したり表現したりする時間を十分に確保する。</td><td>A</td><td>A</td></tr>
<tr><td>事柄の順序や理由などを明確にしながら、自分の思いや考えを積極的に伝えることができるよう指導ができたか。</td><td>B</td><td>A</td><td>A</td></tr>
<tr><td>既習や生活体験をもとに自分で考えるだけでなく、他者の意見から自分の考えを深めるような指導ができたか。</td><td>B</td><td>A</td><td>A</td></tr>
<tr><td>基礎･基本の確実な定着のための工夫した授業づくりや課題探求的な学習を基盤とした児童に達成感のある授業づくりを推進したか。</td><td>B</td><td>A</td><td>A</td></tr>
<tr><td>指導と評価を一体化させた学習活動を継続することができたか。</td><td>B</td><td>A</td><td>A</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="3">学校関係者評価委員による意見</td><td colspan="3">生成AIを使う機会も増えていくだろうから、時代に即した使い方をしていくとよいのではないか。やってみたいことを「楽しむ」ために、考え・学ぶことができると自由な発想が出ると思われる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">もっと遊ぶ子（健やかな体）</td><td>自分や周りの人のことを考え、安全に生活する姿勢を育てることができたか。</td><td>B</td><td rowspan="2">安全に関わる指導（避難訓練・防犯訓練・引き渡し訓練・方面別下校など）を通して、季節や時事についても触れ、危機感・緊張感をもって参加できるよう取り組んだ。次年度も、実際の天災や事故を想定して指導・訓練ができるよう計画を立てていく。

児童アンケートでは、「積極的に遊んでいる」との回答があった。教職員も子どもは遊びに参加していると捉えている。ただ、高学年になると割合は徐々に減っている。
昨年度より、金曜日放課後に「放課後遊びタイム」を新たに設定した。各学年２回程度、体育館やグラウンドでボールを使ったり、走り回ったりして遊ぶことができるようにした。担任も参加し、一緒に汗をかきながら遊ぶことで、子どもたちにとっては新しい遊びを体験したり、普段とは異なる友達と遊んだりする機会となった。高学年も楽しそうに参加している様子が見られる。保護者からの評価も高く、次年度も体を動かす機会の充実を図るために継続していく。</td><td>A</td><td>A</td></tr>
<tr><td>遊びや運動を通して、ルールを守ったり、遊びの工夫をしたりするなど、規則順守や創意工夫する力を身に付けられるよう指導できたか。</td><td>B</td><td>A</td><td>A</td></tr>
<tr><td colspan="3">学校関係者評価委員による意見</td><td colspan="3">一度家に帰ってしまうと、ゲームや動画などで時間を過ごしてしまいがちなので、放課後にそのまま校内で遊ぶ機会を継続するのがよい。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">あったかい子（豊かな心）</td><td>自分の役割や責任を考え、行動するよう指導することができたか。</td><td>B</td><td rowspan="3">縦割りグループで参加した「豊園っ子遠足」では、高学年が低・中学年を思い遣る姿が見られた。休み時間に一緒に遊んできた異学年交流のよさが表れていた。途中雨が降り、切り上げて戻ってきたが、校内でも高学年が臨機応変に対応していた。
次年度も、より子ども主体の児童活動を目指し、委員会活動として「GKP（学校を考えるプロジェクト）」を継続する。学校がよりよい場所になるために、どのような活動をしていくとよいのか、子どもたちが「安全」「挨拶」「感謝」「図書」などのプロジェクトを立ち上げ、取り組めるようにする。
４月には、高学年が考えた活動内容を全校に発信する時間を設定する。子ども一人一人が、学校づくりに参加する意識を育てていく。</td><td>A</td><td>A</td></tr>
<tr><td>人や場に応じた言葉遣いやあいさつなどを身に付けられるよう指導することができたか。</td><td>B</td><td>A</td><td>A</td></tr>
<tr><td>友達のよさやがんばり、相手の気持ちを考えて行動する子が育ったか。</td><td>A</td><td>A</td><td>A</td></tr>
<tr><td colspan="3">学校関係者評価委員による意見</td><td colspan="3">・縦のつながりは、人のつながりになるので、取組の継続を期待する。
・思いやりの心は大切。身に付いてほしい。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">しなやかな子</td><td>自分と違う考えを受け入れたり、広い視野で柔軟に物事を捉えられたりするよう指導できたか。</td><td>B</td><td rowspan="2">主体的に行動する上で「挑戦する」「粘り強く取り組む」姿勢を育むことは、欠かせないが、アンケートからは、昨年度同様に４割近くの保護者が定着していないと回答している。まだまだ結果重視の考え方があると思われる。
各学級、行事や学習において子どもが挑戦できる場を計画的に設定し、行動に移す価値を感じられるようにすることが大切である。子どもが試行錯誤できるよう支援して、失敗を恐れずに困りを乗り切る経験を積み重ねられるようにする。</td><td>A</td><td>A</td></tr>
<tr><td>どんなことにも進んで挑戦し、最後までやり抜く粘り強さを育てることができたか。</td><td>B</td><td>A</td><td>A</td></tr>
<tr><td colspan="3">学校関係者評価委員による意見</td><td colspan="3">・子どもの様子に手を出さずに見守っていると思わぬときに結果・成果が出る場合がある。時間をかけて見守ってみるのも必要。
・失敗を恐れることがマイナスと思えるように、指導してほしい。</td></tr>
</table>